



読字 原田 鏡

No. 831

2017/ 6/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区湯島
4-1-1 TEL:03-3837-2111

日中友好協会
岡山支部
〒730-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3016
郵便番号1100
01250-04-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央4-8-4 (宮地方)
TEL/FAX:086(445)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



第30回記念岡山きりえ展

小林 軍治

観しました。

5月23日(火)から28日(日)まで、岡山県天神山文化プラザで標記の展示会が開催されました。この会は、岡山きりえの会(事務局は横谷敦子さん)が主催しています。

私は毎年この展示会を楽しみにしていたので、さっそく出かけました。今年は26日(金)に芳田日本語学習講座の受講生3人、講師2人の計5人で校外学習の一つとして、参



芳田日本語学習講座のみなさん

観しました。会場には、14人の方の風景・人物・動物・植物画など多彩な作品36点が展示されていました。名香会からは、土井さんの「洛陽の牡丹」、横谷さんの「笑つていこう!」など4点、なぎさ会からは、佐々木さんの「菜の花の中で」など4点。風からは、岸本さん、坂元さん、竹内さんから11点。その他17点です。

受講生は、昨年芳田公民館で一日だけきり絵を教えていただいた竹内先生の作品をはじめ、すべての展示作品を約30分かけて熱心に見ました。感想文を依頼した益田さんは、メモを取りながら一つひとついいねいに見ていました。私は坂元さんの「アスタルジックな街九份」(台湾)、「レトロなお店」(倉敷)が目にとまりました。5人は、受付の人をお願いして、竹内先生の作品「ピンクハウス」運動公園入口」コーヒータイ

中国残留孤児二世

『山中晴子』さんの話を聞いて

ムI」をバックに記念写真を撮りました。

日中岡山支部は、岡山きりえの会の協賛団体として展示会の案内、参観した感想文を「日中おかやま」に掲載してきました。今後もしりえ展は、日中友好の心情をはぐくむ文化活動として大切に、日中岡山支部としてもきり絵を楽しみむ機会を作っていきたいと思

5月20日(土)は岡山生涯学習センターで、中国残留孤児二世の山中晴子さんから『愛的絆』—中国残留孤児二世が語る家族の歴史—と題するお話を聞きました。私は

県立高校の社会科の教師をしていました。孤児や婦人の存在を知った

のは、1980年の新採用の後だったと記憶しています。1980年代になって残留孤児の肉親捜しが始まり、テレビでドラマ化されたり、山崎豊子の「大地の子」を読んだりして、その運命の過酷さに涙したものです。しかし、実際に当事者からお話を聞くのは今日が初めてなので、楽しみに今日の日を迎えました。

父幹夫さんのために、八路軍の同僚に息子のことを託していたそうです。幹夫さんは八路軍に入り、やがて父の遺言に従って医者になるための学校に入り、医者になりました。

山中さんの祖父、佐々木源吾さんは釧路で医者をしていたところ、軍医として召集を受け、1938年に満州へ渡ったそうです。その後、山中さんの祖母が亡くなったため、山中さんの父の佐々木幹夫さんは兄の一誠さんとともに、1941年に満州へ渡りました。日本の敗戦後も祖父は医者としての腕を買われて、八路军の下で医者として働きました。1946年に満州ではコレラが大流行し、祖父は懸命に治療にあたりましたが、その過程で亡くなってしまいました。祖父はその功績を共産党から讃えられ、鞍山市烈士纪念馆に顕彰の碑が建てられました。兄の一誠さんは義勇軍に身を投じてすでに亡くなっていたので、祖父はただ一人残される山中さんの

父幹夫さんのために、八路軍の同僚に息子のことを託していたそうです。幹夫さんは八路軍に入り、やがて父の遺言に従って医者になるための学校に入り、医者になりました。

なりました。母は全く日本語ができず、現在は要介護5というのですが、公的介護は受けず、山中さんが介護しているということでした。山中さんは現在介護福祉士の資格を取り、ケアマネージャーの資格をめざして勉強中とのことです。日本に来てからも職を変わたり、離婚も経験するなど苦労は絶えなかったようですが、「今の夫と知り合ったことが大きい。今は夫が私を支えてくれています」という言葉が印象に残りました。もう一つ、山中さんの楽しみは2人の子どもの成長です。

父は懸命に治療にあたりましたが、その過程で亡くなってしまいました。祖父はその功績を共産党から讃えられ、鞍山市烈士纪念馆に顕彰の碑が建てられました。兄の一誠さんは義勇軍に身を投じてすでに亡くなっていたので、祖父はただ一人残される山中さんの

父幹夫さんのために、八路軍の同僚に息子のことを託していたそうです。幹夫さんは八路軍に入り、やがて父の遺言に従って医者になるための学校に入り、医者になりました。

なりました。母は全く日本語ができず、現在は要介護5というのですが、公的介護は受けず、山中さんが介護しているということでした。山中さんは現在介護福祉士の資格を取り、ケアマネージャーの資格をめざして勉強中とのことです。日本に来てからも職を変わたり、離婚も経験するなど苦労は絶えなかったようですが、「今の夫と知り合ったことが大きい。今は夫が私を支えてくれています」という言葉が印象に残りました。もう一つ、山中さんの楽しみは2人の子どもの成長です。

父は懸命に治療にあたりましたが、その過程で亡くなってしまいました。祖父はその功績を共産党から讃えられ、鞍山市烈士纪念馆に顕彰の碑が建てられました。兄の一誠さんは義勇軍に身を投じてすでに亡くなっていたので、祖父はただ一人残される山中さんの

父幹夫さんのために、八路軍の同僚に息子のことを託していたそうです。幹夫さんは八路軍に入り、やがて父の遺言に従って医者になるための学校に入り、医者になりました。

なりました。母は全く日本語ができず、現在は要介護5というのですが、公的介護は受けず、山中さんが介護しているということでした。山中さんは現在介護福祉士の資格を取り、ケアマネージャーの資格をめざして勉強中とのことです。日本に来てからも職を変わたり、離婚も経験するなど苦労は絶えなかったようですが、「今の夫と知り合ったことが大きい。今は夫が私を支えてくれています」という言葉が印象に残りました。もう一つ、山中さんの楽しみは2人の子どもの成長です。

犬飼 繁

日本国憲法と私

岡山マスコミ九条の会 土井 弘高

1945年8月15日、私は旧制中学一年生だった。この日を境に世の中は一変した。

教育勅語のもと、天皇のために命を捧げるのが最大の忠義だと教え込まれた教育。私も、戦地で戦うため学校から選抜され、陸軍幼年学校の受験勉強に励んでいた。

もちろん、試験は吹き飛ばし、それまで軍事教練で威張っていた配属将校は姿を消し、先生も「自由」「民主主義」という言葉をしきりに口にするようになった。

空襲で廃墟と化した焼け跡、深刻な食糧難、混乱は続いたが、戦争が終わりもう死ななくてもよいということはどううれしかった。

そんな中、1947年5月3日に施行されたのが、日本国憲法「だった。国民みんなが憲法を守っていこうと、文部省は中学一年生用の社会科教科書として「あたらしい憲法のはなし」を発行し、学校の授業でも力を入れて取り組まれた。

あたらしい

憲法のはなし



文部省

第8回「孟子」を読む 万章篇

弓田 盛樹

この篇は弟子の万章との問答が中心に構成されており、聖人の理想的な姿や、孔子の古伝に関することが中心となっています。

この篇の最後で、孟子は齊の宣王に卿のことを尋ねられます。卿とは大臣のこと。大臣には2種類あり、貴戚の卿＝君主の親戚で大臣になった者、異姓の卿＝親戚関係のない大臣、があります。宣王は貴戚の卿について知りたいと孟子に質問します。

孟子は答えます、「君主に過ちがあれば、諫めます。しかし、君主が何度過ちを指摘しても改めようとしなければ、その君主を追放します」と。暴君桀と紂が討伐されたのと同様に、君主の立場は徳によってこそ保たれるという孟子の思想の現れです。

一方、異姓の卿は諫言が聞き入れられなければ、君主の元を去ると孟子は言います。日本の武士社会にみられるような厳格な忠義精神は見受けられません。孟子にとっては、君主自身の徳の高さ如何によって君臣関係は決まるものです。

孟子の徳道徳は君主もしくは、人の上に立ちたい者に対して向けられています。それは、『大学』『中庸』でも同様です。しかし、後世になって立場が逆転していきます。おそらく、時代を経るごとに儒教が国教のような扱いを受けるようになったことで、国家統制に利用されたためでしょう。また、韓非子(法家)などプラグマティックな思想が登場したことで、儒家も変化をしいられることとなります。朱子学や陽明学など様々な流派が現れてきます。

中国では今儒教ブームが到来していると言われています。実際には、国家統制に利用されているように思えてなりません。日本においても教育勅語の問題など似たような現象が起きています。

こうした反動的な現象が現れた場合、正面から批判・反対をしても問題の解決は困難です。何故なら、教育勅語の場合、そこにある思想に推進者は日本の伝統・文化を見出しているのであり、反対する側は日本の伝統・文化を否定することになり、西洋主義に陥ってしまうからです。

教育勅語を完全に消し去るためには、アジア的なものを再考していくことが求められます。明治維新以降によって作り上げられた天皇制は明らかに、儒教・陽明学の影響があります。儒教本来の考えと陽明学や朱子学の違いは何か。江戸時代における儒教精神と維新以降の儒教精神の相違点は何か。そこまで遡って考えなければ根本的解決にはならない問題です。

つづく

知りもしない軽薄な権力者によって改悪されようとしている。絶対に許すわけにはいかない。

もう永久に戦争はしない」主権は国民にある」国民の基本的人権は永久の権利として保障される」すべての国民は健康で文化的な生活を営む権利がある」……前途に希望の広がるすばらしい内容だった。

当時に国民の多くが、戦争の多大の犠牲の上に手にした貴重な成果」と受け止め、歓迎する気持ちが強かった。その憲法が、戦争の惨禍を

当時の日本国民が、憲法をどう受け止めたかを知るうえで、貴重な内容であると思いが掲載しました。

女性の権利はベアテさんからの贈り物

5月21日、日本国憲法の制定過程……押しつけ憲法論について」というタイトルで学習しました。講師の榊原先生

から日本の敗戦直後の状況、日本支配層の置かれた状況、GHQの方針、当時の民間の動きなど資料を参考に説明してくださり、とても意義のある学習会でした。ありがとうございました。

その後、参加者からの質問や感想が出され、その中で資料の冒頭に書かれていた、日本国憲法は、明治憲法下から

引き続き温存された日本の支配層にとっては、確かにGHQから押し付けられたものであった。しかし、明治憲法下で

抑圧され、戦争によって大きな犠牲を払ってきた国民の大部分にとっては、GHQからの贈り物であった。……のGHQからの贈り物であったというところに引っかかるという意見が出されました。

私は以前、1945年のクリスマス(ベアテ・シロタ・ゴードン著)を読んでいたもので、ある意味でGHQからの贈り物

だったかなと理解してしま

た。ベアテさんは憲法素案を作成するGHQの民生局の1人として、女性の権利を書くように要請されました。彼女は両親と日本に住んでいたことがあり、戦前の日本の女性がおかれていた無権利な状況を理解していました。そこで、日本の女性が、幸せになるには何が一番大事かを考え、

男性も女性も人間として平等である」をキーワードに据え、女性が幸せにならなくては、日本は平和にはならない、男女平等はその大前提という

観点から女性の権利の項目を書きました。あなたの未来は今私が書くこととしている事柄で決まるのよと、行きかう女性の顔を見ると、そんなセリフが口を吐いて出そうになったと書かれています。少なくとも女性の権利に関してはベアテさんの日本女性への素晴らしい贈り物だったと思えます。

旭操・富山9条の会
石野洋子

次回の新聞送付作業は
6月12日(月)午後1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

由 木岡
今 小川
小 小林
曾 田
竹 内
内 和
竹 内 袈